

┌言語学関係。漢は漢学関係。

| ┌文学関係

|| ┌歴史・文化関係。室は同志社・室町幕府関係。

km	時分	言文史	碑など	右寄せになっているものは途中にある
0.0	1000		同志社正門	今出川通烏丸東入る北側
0.6	1010	言文	藤原定家墓碑	相国寺内
		漢	藤原惺窩墓碑	相国寺外，見えない。
0.9	1030	室	花御所八幡址	上御霊神社，上御霊前通烏丸東入る北側
		史	尾形光琳邸址	上御霊前通烏丸東入る上る北側
		言	新村出邸址	北区中溝町
1.4	1100	文	紫式部墓碑	堀川通紫明上る（北大路下る）西側
		文	小野篁墓碑	同上
			船岡山	南北は鞍馬口・北大路，東西は船岡東・千本
1.5	1130	言	富士谷成章墓碑	千本通鞍馬口上る（北大路下る）東側
km	時分	言文史	碑など	
3.0	1300	漢	伊藤仁斎古義堂	東堀川通下立売上る東側
		漢	山崎闇齋塾	葎屋町通下立売上る東側
		言	真敬寺	葎屋町通下立売上る西側
1.0	1330	言	富士谷成章邸址	中立売通小川東入る南側
0.5	1350	漢	皆川淇園弘道館址	上長者町通室町東入る北側
		史	蛤御門	
		文	紀氏邸址	大宮御所内，見えない。
1.0	1420	言文	上田秋成終焉地碑	清和院御門前
0.6	1440	室	新島襄邸	寺町通丸太町上る東側
0.8	1510	史	頼山陽邸址	丸太町通東三本木上る東側
km	時分	言文史	碑など	
0.4	1600	言史	下御霊神社	寺町通竹屋町東入る北側
0.3	1620	言文	藤原定家邸址	寺町通夷川下る西側
		史	足利尊氏邸址	御池通高倉上る東側
0.9	1650	文	在原業平邸址	御池通間之町東南角
		室	南蛮寺址	蛸薬師通室町東入る北側
0.9	1710	漢	木下順庵塾址	錦小路通烏丸西入る南側
		史	武野紹鷗井戸址	室町通錦小路下る東側
0.4	1720	言文	堀景山塾址	綾小路通室町西入る南側
0.5	1740	文	新玉津島神社	松原通室町東入る南側
		文	与謝蕪村邸址	仏光寺通烏丸西入る南側
0.5	1800	言文	本居宣長偶講学碑	烏丸通四条下る東側

組み込まなかった例

・北野天満宮 天満宮神社 菅大臣神社 文子天満宮 ・伴蒿蹊墓碑 頼山陽墓碑

- 藤原定家 ふじわらのさだいえ 1162応保2-1241仁治2
平安時代の文芸を現代に伝えている。仮名遣いの問題提起を象徴する。
- 藤原惺窩 ふじわらせいか 1561永禄4-1619元和5
相国寺に入ったが朱子学を究め、近世儒学の祖となる。
- 新村出 しんむらいずる 1876明治9-1967昭和42
言語学者。広辞苑の編者。山口県出身で、木戸孝允邸を買い取って住んだ。
- 紫式部 むらさきしきぶ 978天元ころ-1014長和ころ
源氏物語は古典文章・文芸の規範となった。
- 小野篁 おののたかむら 802延暦21-852仁寿2
篁物語のモデル。養老令の解釈を定めた令義解の編者の一人。
- 富士谷成章 ふじたになりあきら 1738元文3-1779安永8
あゆひ抄序文に、国語の品詞分類・活用表・時代区分の論を残す。
- 伊藤仁斎 いとうじんさい 1627寛永4-1705宝永2
朱子を排して古義学を構築した。元禄文化を象徴する一人。
- 山崎闇斎 やまざきあんさい 1618元和4-1682天和2
朱子理解を徹底させ、その発展として垂加神道を提唱した。
- 東条義門 とうじょうぎもん 1786天明6-1843天保14
本居学派の活用研究および漢字音研究を深めた。真敬寺で倒れ、小浜に帰って没。
- 皆川淇園 みながわきえん 1734享保19-1807文化4
儒学を代表する一人。字解でも知られ、富士谷成章の実兄。
- 紀貫之 きのつらゆき 945天慶ころ没
古今和歌集の編者を代表し、また土左日記を著す。古典文芸を樹立したことになる。
- 上田秋成 うねだあきなり 1734享保19-1809文化6
本居宣長は、古代音韻・思想を秋成と論争し、呵刈葭にまとめた。
- 頼山陽 らいさんよう 1780安永9-1832天保3
鴨川西岸の山紫水明処で日本外史・日本楽府を完成した。
- 在原業平 ありわらのなりひら 825天長2-880元慶4
伊勢物語のモデル。伊勢物語は、古今和歌集と並ぶ古典中の古典。
- 木下順庵 きのしたじゅんあん 1621元和7-1698元禄11
松永尺五に朱子を学び、新井白石・室鳩巢・雨森芳洲などを出した。
- 堀景山 ほりけいざん 1688元禄元-1757宝暦7
朱子学者。国学にも通じて契沖を本居宣長に伝えた。塾址には宣長修学地碑がある。
- 本居宣長 もとおりのりなが 1730享保15-1801享和元
古事記伝のほか、国語について、係り結び、漢字音などの研究を残している。
- 谷川士清 たにがわことすが 1709宝永6-1776安永5 →京都に碑等はないか
日本書紀通証のほか、標目五十音順配列の辞書・和訓栞を著した。
- 説明省略 足利尊氏・武野紹鷗・尾形光琳・与謝蕪村
- 新玉津島神社 にいたまつしまじんじゃ
藤原俊成が千載集を編み、後には北村季吟が社司を務めた。
- 南蛮寺 なんばんじ
イエズス会の礼拝堂・天主堂。その礎石が今出川図書館正面玄関前にある。

		800	9	10	11	12	1300
小野 篁	802-852	=====					
在原 業平	825-880	=====					
菅原 道真	845-903	=====					
紀 貫之	945ころ没	=====					
紫 式 部	978-1014			=====			
藤原 俊成	1114-1204				=====		
藤原 定家	1162-1241					=====	

		800	9	10	11	12	1300
足利 尊氏	1305-1358	=====					
足利 義満	1358-1408		=====				
足利 義政	1436-1490			=====			
応仁の乱	1467-1477			=			
武野 紹鷗	1502-1555			=====			
千 利休	1522-1591			=====			
本阿彌光悦	1558-1637				=====		
藤原 惺窩	1561-1619				=====		
山崎 闇斎	1618-1682					=====	
木下 順庵	1621-1698					=====	
北村 季吟	1624-1705					=====	
下河辺長流	1624-1686					=====	
伊藤 仁斎	1627-1705					=====	
徳川 光国	1628-1700					=====	
契 沖	1640-1701					=====	
尾形 光琳	1658-1716					=====	
堀 景山	1688-1757					=====	
谷川 士清	1709-1776					=====	
与謝 蕪村	1716-1783					=====	
本居 宣長	1730-1801					=====	
伴 蒿蹊	1733-1806					=====	
上田 秋成	1734-1809					=====	
皆川 淇園	1734-1807					=====	
富士谷成章	1738-1779					=====	
本居 春庭	1763-1828					=====	
藤井 高尚	1764-1840					=====	
鈴木 朗	1764-1837					=====	
富士谷御杖	1768-1823					=====	
頼 山陽	1780-1832					=====	
東条 義門	1786-1843					=====	
新村 出	1876-1967						=====